

# 記入例

## 介護保険負担限度額認定申請書

令和元年 5月 10日

(申請先)  
美祿市長様

スタンプ印不可  
朱肉を使用する印で押印

マイナンバー(個人番号)を記入  
※空欄でも受付可

次のとおり関係書類を添えて、食費(滞在費)に係る負担限度額認定

フリガナ	ミネ タロウ	被保険者番号												
被保険者氏名	美祿 太郎	個人番号	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	1	2
生年月日	明・大・ <b>昭</b> ○年 ○月 ○日	性別	男・女											
住所	美祿市○○町○○ ○番地○○ 電話番号 0837 (5×)××××													
入所(院)した介護保険施設の所在地及び名称(※)	美祿市○○町○○ ○番地○○ 特別養護老人ホーム△△園 電話番号 0837 (5×)××××													
入所(院)年月日(※)	令和 ○○年 △月 □日	(※)介護保険施設に入所(院)していない場合及び場合は、記入不要です。												

住民票上世帯が異なる配偶者  
や内縁関係の方を含む

配偶者に関する事項	配偶者の有無	有 ← 無													
	フリガナ	ミネ ハナコ													
	氏名	美祿 花子													
	生年月日	明・大・ <b>昭</b> ××年 ×月 ×日	個人番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	0
	住所	美祿市△△町△△ △△番地△△ 電話番号 08396 (2)××××													

該当する箇所にチェックを記入  
と異なる場合のみ御記入ください。

受給している全ての年金の保険者を○で囲む

収入等に関する申告	<input type="checkbox"/>	生活保護受給者/市町村民税世帯非課税者である老齢福祉年金受給者											
	<input checked="" type="checkbox"/>	市町村民税世帯非課税者であって、課税年金収入額と合計所得金額と【遺族年金・障害年金】収入額の合計額が年額80万円以下です。 (受給している年金を○で囲む)											
	<input type="checkbox"/>	市町村民税世帯非課税者であって、課税年金収入額と合計所得金額と【遺族年金・障害年金】収入額の合計額が年額80万円を超えます。 (受給している年金を○で囲む)											
預貯金等に関する申告 (配偶者のものを含む)	<input checked="" type="checkbox"/>	預貯金・有価証券等の金額の合計が1000万円(夫婦は2000万円)以下です。 ※預貯金・有価証券にかかると通帳等の写しは別添のとおり											
	預貯金額	2,500,000 円	有価証券 (評価概算額)	0 円	その他 (現金・負債を含む)	(現金)※ 200,000 円							

受給している非課税年金があれば○で囲む

受給している全ての年金の保険者を○で囲んでください

○日本年金機構  
○地方公務員共済  
○国家公務員共済  
○私学共済

※内容を記入してください。

申請者が被保険者本人の場合には、下記については記入不要です。

申請者氏名	美祿 一郎	本人との関係	子
申請者住所	美祿市△△町△△ △△番地△△ 電話番号 08396 (2)××××		

### ◎ 重要書類も忘れずに御記入のうえ、注意事項を御確認

本人と配偶者のすべての口座の預貯金額合計、有価証券、手持ちの現金(タンス預金を含む)等を記入。ない場合は「0」と必ず記入する

※申請書裏面の【必要書類】欄に記載してある書類を添付すること

本人(確認)									
免・保(介・健)・その他( )									
審査	本人世帯(非課税・課税)			配偶者(非課税・課税)			資産(範囲内・超過)		
決定	<input type="checkbox"/> 承認(第 段階)			<input type="checkbox"/> 却下(理由 )					
決定年月日	年 月 日			交付年月日			年 月 日		
決裁	課長	課長補佐・主査	係長	係	入力	適用期間	年 月 日～ 年 月 日		

# 同意書

美 祢 市 長 様

介護保険負担限度額認定のために必要があるときは、官公署、年金保険者又は銀行、信託会社、その他の機関(以下「銀行等」という。)に私及び私の配偶者(内縁関係の者を含む。以下同じ。)の課税状況及び保有する預貯金並びに有価証券等の残高について、報告を求めることに同意します。

また、美祢市長の報告要求に対し、銀行等が報告することについて、私及び私の配偶者が同意している旨を銀行等に伝えて構いません。

令和 元年 5月 10日

<本人>

住所 美祢市〇〇町〇〇 〇番地〇〇

氏名 美 祢 太 郎 

<配偶者>

住所 美祢市△△町△△ △△番地△△

氏名 美 祢 花 子 

本人と配偶者それぞれ別の印鑑を押印してください。(スタンプ印不可)

※本人の印鑑は表面(申請書)と同じもので押印してください。

## 注意事項

- (1)この申請書における「配偶者」については、世帯分離をしている配偶者又は内縁関係の者を含みます。
- (2)預貯金等については、同じ種類の預貯金等を複数所有している場合は、そのすべてを記入し、通帳等の写しを添付して下さい。
- (3)書き切れない場合は、余白に記入するか又は別紙に記入の上添付してください。
- (4)虚偽の申告により不正に特定入所者介護サービス費等の支給を受けた場合には、介護保険法第22条第1項の規定に基づき、支給された額、及び最大2倍の加算金を返還していただくことがあります。

## 【必要書類】

預貯金等の要件を確認できる次の書類を添付してください。(本人と配偶者のもの)

- 預貯金 … 通帳のコピー ※①銀行名・支店名・名義の記載部分(表紙裏面)と  
②申請日から2か月前までの出入金の記載部分  
(その間に出入金がない場合は最終残高の記載部分)
- 有価証券(株式・国債・地方債・社債など) … 証券会社や銀行の口座残高のコピー
- 金・銀(積立購入を含む)など … 購入先の銀行等の口座残高のコピー
- 投資信託 … 銀行、信託銀行、証券会社等の口座残高のコピー
- 負債(借入金・住宅ローンなど) … 借用書などのコピー

## 申請書記入にあたっての注意点

### 【収入等に関する申告】

- ◆ 前年に受給した非課税年金の種別及び受給している全ての年金の保険者を○で囲む欄がありますので、それぞれ忘れずに記入してください。

### 【預貯金等に関する申告】

- ◆ 下記の《対象資産》について、全ての口座の預貯金額合計、有価証券、手持ちの現金（タンス預金を含む）を記入してください。ない場合は必ず「0」と記入してください。
- ◆ 配偶者のいる方は夫婦合計したものを記入してください。
- ◆ 資産の種類ごとに、下記の書類を提出してください。配偶者のいる方は配偶者の書類も提出してください。

#### 《対象資産》

資産の種類	御提出いただく書類
預貯金	通帳のコピー（最新まで記帳したもの） ① 銀行名・支店名・名義の記載部分（表紙裏面） ② 申請日から2か月前までの出入金の記載部分 （その間に出入金がない場合は最終残高の記載部分）
有価証券（株式・国債・社債など）	証券会社や銀行の口座残高のコピー
金・銀（積立購入を含む）など、時価評価額が容易に把握できる貴金属	購入先の銀行などの口座残高のコピー
投資信託	銀行、信託銀行、証券会社等の口座残高のコピー
現金（いわゆるタンス預金）	自己申告
負債（借入金、住宅ローンなど）	借用証書などのコピー

※生活保護受給者の方は添付書類は必要ありません。

#### 《対象とならない資産》

生命保険、自動車、不動産、その他高価な価値があるもののうち時価評価額の把握が困難なもの（腕時計、宝石、絵画、骨董品、家財など）

### 【同意書】

- ◆ 申請書の裏面にありますので、忘れずに記名押印してください。
- ◆ 配偶者のいる方は、配偶者も記名押印してください。

### 【個人番号】

- ◆ 申請書にマイナンバー（個人番号）を記載された場合  
申請書を提出される際に「個人番号の確認できる書類」（マイナンバーカード、番号通知カード等）及び窓口に来られる方の「本人確認のできる書類」（運転免許証等写真つきのものなら1点、健康保険証等写真のないものなら2点）をお持ちください。郵送で提出される場合は「個人番号の確認できる書類」と「本人確認のできる書類」はそれぞれコピーを添付してください。
- ◆ 申請書にマイナンバー（個人番号）を記載できない場合  
個人番号の記載や「個人番号の確認できる書類」の提示が困難な場合は、個人番号は未記入のまま提出していただいて差支えありません。この場合「個人番号の確認できる書類」「本人確認のできる書類」をお持ちいただく必要はありません。郵送で提出される場合も添付不要です。